

3期12年を通じて、農業の成長産業化、食の付加価値向上をはじめ、起業・創業支援による新たな仕事づくりや、教育・子育て・医療の充実などにも取り組んできたことで、市民の皆さんの暮らしとまちの活力を支える基盤に、厚みや広がりが増してきたと考えています。そして、地方都市では見ら

れない国や大手企業との多数の事業連携、起業家コミュニティの醸成が進むなど、十勝・帯広の存在感が明らかに増してきていると感じます。

こうした前向きな動きが見えている中、多くの皆さんから「ここでやめるな」、「コロナ後の方向付けを」といった声を頂き、熟慮の末、域内外の人たちとさまざまな関係性を築いてきた私が、市政のかじ取りを続けることが現状最善と考え、4期目に挑戦する覚悟を決めた次第です。

2年半前、未知のウイルスの出現により、人々は命のはかなさ、そして大切さを実感し、これまでの生き方をも振り返ることとなりました。

ここ、十勝・帯広には豊かな自然やゆとりある空間、そして、人が生きるために欠かせない「食」をつくり出す「農」など、コロナ後の新たな未来において、人々が豊かに暮らしていく上で重視される多数の要素があります。

加えて、農業の安定的な成長、日高山脈襟裳(えりも)国定公園の国立公園化や高速道路の開通に向けた整備が動き出すなど、以前とは明らかに景色が変わってきた十勝・帯広の可能性が広がるこの地域で、さらなる価値づくりの原動力となるのは、皆さんの前向きな想いにほかなりません。私は、与えられた任期において、皆さんの知恵やお力添えを頂きながら、十勝の強い結び付きのもとで、「フードバレーとまち」を次のステージに発展させていくために、将来世代の利益につながる新しい種をまき、十勝・帯広の未来づくりに全力で取り組んでまいります。



市長コラム

夢かなうまち おびひろ

フードバレーとまち ニューステージ ~New Stage~

帯広市長 米沢 則寿

まちづくりにあなたの声を

市長への手紙をお寄せください

市民協働のまちづくりを進めるために、この用紙を使って市政へのご提言・ご意見を、お寄せください。回答を希望される場合は、必ず住所、氏名をご記入ください。匿名の場合は回答することができません。文書で回答したもののうち、その内容が広く市民生活、市民との協働によるまちづくりの参考となるものは、個人が特定できないように編集した上で広報紙やホームページなどに要旨を掲載します。お寄せいただいた内容の公開について、承諾いただけるかどうかをこの用紙のチェック欄でお知らせください。なお、個人情報については帯広市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。



問い合わせ 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109)

市長への手紙

ご提言・ご意見をお寄せください

Handwriting area with horizontal dotted lines for text input.

市からの回答 (□に✓を記入してください)
□回答不要 □回答を希望する※1

ご意見などと回答の要旨を、広報紙やホームページなどに掲載してよろしいですか
□掲載してよい※2 □掲載してほしくない (□に✓を記入してください)

Form fields for address (帯広市), name, age, and phone number.

※1 住所・名前・電話が不明なもの、市政に関係のないご意見などで、市が回答できないものは回答いたしかねますのでご了承ください。
※2 文書で回答したもののうち、広くまちづくりの参考となるご意見などを編集して、個人が特定できない形で掲載します。(広報おびひろ 令和4年6月号)



市長に寄せられた 市民の声

まちづくりに生かす市民の声

市では、皆さんのご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりに反映するように努めています。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

令和3年度は、「市長への手紙」や「陳情・要望」などを通じて、市民福祉部門や、都市環境部門に多くの市民の声が寄せられました。（表1・2）

市長への手紙

■ 昨年度に寄せられた意見と回答の一部をお知らせします。（内容は、意見が寄せられた時点のもの）

■ **声①**……………

■ **声②**……………

■ **回答①**……………
 帯広市では、地域の実情やワク
 チン接種状況、国・北海道の動
 きや役割などを踏まえ、中長期的
 な視点も持ちながら、感染拡大の
 状況などに応じた対策を行ってき
 ました。

■ **回答②**……………
 災害時には、市ホームページの
 トップに避難情報などを掲載する
 ほか、ツイッターなどのSNSや
 緊急速報メール、ラジオ、ケーブ
 ルテレビ、データ放送など、災害
 状況に応じて、さまざまな媒体を
 活用し、市民の皆さんへの情報提
 供に努めてまいります。

令和3年度においても、地方創
 生臨時交付金を活用した市の独自
 事業として、雇用調整助成金など
 の高上補助や申請手続き支援のほ
 か、飲食業の経営継続支援、高齢
 者施設などにおけるPCR検査の
 受検費用支援、プレミアム付商品
 券の発行、北海道の緊急事態措置
 に伴う営業時間短縮要請に協力し

☎65・4103

参考 地方創生臨時交付金を活
 用した帯広市の取り組みについ
 ては、市ホームページ
 でも情報を公開してい
 ます。



表1 「市民の声」の受理方法別件数

受理方法	件数	比率
市長への手紙	282	30.5%
陳情・要望	603	65.3%
市長との懇談会 (市民トークなど)	25	2.7%
その他 (電話・Eメールなど)	14	1.5%
合計	924	100.0%

表2 担当部門別「市民の声」

担当部門	件数	比率
政策推進	64	6.9%
総務	115	12.4%
市民福祉	241	26.1%
経済	96	10.4%
農政	88	9.5%
都市環境	210	22.7%
学校教育	47	5.1%
生涯学習	55	6.0%
上下水道	6	0.6%
議会	1	0.1%
その他	1	0.1%
合計	924	100.0%

※比率の端数調整はしていません。

**帯広市公式LINEと
友達になろう！**

帯広市公式LINEでは、新型コロナ
 ナウイルス情報や緊急情報、イベン
 ト情報など生活に役立つ情報を配信
 しています。

右上の二次元バーコードから
 友達登録をお願いします。 便利な使い方動画▲

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

①キリトリセンに沿って切り離し、手紙を書く
 ②二つ折りにし、のりしろ部分~~を~~を貼り合わせて投函

080-8790

帯広局承認
808
差出有効期限
令和6年3月31日
まで(切手不要)

帯広市長行
帯広市西5条南7丁目1番地